

DJ-TX80, RX80 セットモードについて

DJ-TX80, RX80 ガイドシステム送信機、受信機は、各種機能を用途に合わせてより使いやすくするためにカスタマイズすることができます。ここでは取扱説明書で操作方法を説明した「セットモード」について詳しく説明します。

※文中のローマ字はディスプレイの表示、「設定値」は変更や設定ができる内容、「初期値」は出荷時の設定です。

※セットモードの操作方法は最後のページにも記載しています。

1: 電池選択機能「bAt」

設定値 AL/ni (初期値 AL)

減電池アイコンで電池残量を正しく表示させるため、お使いの電池に合わせてください。誤った設定にしても故障の原因にはなりません、減電池表示が不正確になります。

AL: アルカリ乾電池

ni: ニッケル水素充電電池 EBP-179

※マンガン乾電池は使用時間が極端に短くなります。リチウム乾電池も使用できアルカリ乾電池より長持ちしますが、減電池表示後は数分で使用できなくなります。

2: ビープ音量「bP」

設定値 Lo/Hi/OFF (初期値 Lo)

本体から鳴るビープ音（操作音）の音量を変更することができます。

Lo: ビープ音量小

Hi: ビープ音量大

OFF: オフ

「OFF」に設定するとすべてのビープ音（キー操作音、電源起動時の音など）が鳴らなくなります。

3: ランプ機能「LmP」

設定値 5 秒/OFF/ON (初期値 5 秒)

液晶ディスプレイの照明設定です。

5 秒： 初期状態で、キー操作（キーロック操作と音量調節以外）をすると自動的に 5 秒間照明が点灯します。

OFF： 常時消灯します。

ON： 常時点灯したままになりますが、電池の消耗がとてま早くなります。

4: LED 機能「LEd」

設定値 ON/OFF (初期値 ON)

OFF にすると動作状態を色で知らせる LED を消灯できます。少しの光でも邪魔になるような特殊な用途以外は初期値の ON でお使いください。

5: 送信方法切り替え機能「Pt」(DJ-TX80 のみ)

設定値 PTT/HOLD/AUTO (初期値 HOLD)

どのように送信するかを選びます。

PTT： マイクの PTT キーを押している間送信し、離すと送信を止めます。話しているときより無言時間のほうが長いときに最適です。

HOLD： PTT キーを一度押すと送信状態になり、もう一度 PTT キーを押すまで送信を続けます。無言時間が短いときやハンズフリーでガイドしたいときに最適です。

AUTO： 電源を入れてチャンネルが表示された後、またはチャンネルを変更してから約 3 秒経過すると自動で送信して、次に電源を切るまで送信状態を保ちます。通訳のようなシナリオが無いガイドなどでシステムの操作を気にせずお使いになれますが、無言時の咳払いや打ち合わせのような不要な音声も送信されますのでご注意ください。

参考 「HOLD」と「AUTO」について

PTT キーロック機能が無いマイク類を使うときにロック代わりに使うことができます。休憩、手洗い、打ち合わせ等の前には必ず送信状態になっていないことをお確かめください。

※DJ-TX80 の音声は市販のラジオや受信機では聞くことができませんが、DJ-RX80 を持つ人は誰でも後述のスクラン機能を使って受信できます。ガイドシステムの電波はそれほど遠くまでは伝わりませんが、秘密やプライバシーが漏れないよう送信時は十分留意してください。

6: コールバック機能「CLb」(DJ-TX80のみ)

設定値 OFF/Lo/Hi (初期値 OFF)

OFF: オフ

Lo: コールバック音量小

Hi: コールバック音量大

コールバック機能を「Lo」もしくは「Hi」に設定すると、別売のマイク EME-48AMY と別売のイヤホン (AD001 もしくは EME-27) 使用時に送信中の自分の声をモニターすることができます。「話したつもりだったが、送信できていなかった」といった PTT キーの操作ミスを防げます。

7: マイクゲイン機能「miCG」(DJ-TX80のみ)

設定値 1/2/3/4/5/6/7/8/9 (初期値 5)

マイクの感度が調整できます。大きくするほど受信音声が大きくなります。最適値は送信者の声量、口とマイクの距離などで変わるので DJ-RX80 でモニターしながら最適になるように調整します。大きすぎると音が歪むのでご注意ください。

8: スキャン機能「SCn」(DJ-RX80のみ)

設定値 ON/OFF (初期値 OFF)

信号を自動で探して受信します (スキャン)。「ON」にするとスキャン操作ができます。管理者がチャンネル設定する前に、別のユーザーの混信が無いかチェックするときに使うほか、受信端末が多いときに後述の「参考」の方法でチャンネルの自動設定ができます。

- ・△または▽キーを長押しすると表示に「*」が点滅し、△キーは昇順、▽キーは降順にスキャンを始めます。信号を受信するまでスキャンを繰り返します。
- ・信号を受信するか△または▽キーを押すと止まります。止まっているときはマニュアル操作と同様にキーを短く押してチャンネルを切り替えられます。スキャンしていないときは「*」が消灯します。
- ・受信中の信号が途切れても、スキャンは自動で再開しません。

参考

当ガイドシステムユーザーが近くに居らず、DJ-TX80を1台だけで送信する、混信が無い環境では下記のような使い方ができます。送信側のチャンネルを変更しても受信端末はそれを自動で見つけてくれるので受信端末が多いときにチャンネル変更の手間が省けます。同じ場所で複数のユーザーグループがあると、別グループの信号を受信するなど動作不安定になるのでご注意ください。

- 1: 受信端末を全てスキャン設定にする。
 - 2: 予め設定しておいたチャンネルで送信する。（台数が多いときは時間がかかるのでPTT切り替えをHOLDかAUTOIにしておくことをお勧めします。）
 - 3: 受信端末の△キーまたは▽キーを長押ししてスキャンを開始する。送信側の信号を見つけると自動でスキャンを止めて受信を始める。
 - 4: すべての受信端末のスキャンが止まり、正しく受信していることを確認する。
 - 5: 受信端末をキーロックする。
- ※電源を切っても設定を保持しています。

セットモードの操作：

1. 電源を切った状態で△と▽キーを一緒に押したままで電源を入れます。[Set]のあと[1bAt-AL]が表示されます。
2. 値を変えたいければ▽キーだけを押しします。押すごとにALとniが切り替わります。今の項目の値が用途に合う状態であれば、△キーを押して次の項目に移動します。設定項目は機種によって異なります。
3. 同様に△キーで項目を選び、▽キーで値を選びます。前の項目に戻ることはできません。目的の項目になるまで△キーを押し直してください。
4. 設定が終わったら最後の項目「End」を選んで▽キーを押すと操作画面に戻ります。「End」を選んで▽キーを押さないと確定しません。

以上

アルインコ(株) 電子事業部

PW0001
FNFG-EE